

施設関係者評価実施報告書

令和 2年 3月 30日

報告者氏名

田中 圭



①全体計画

今年度は、教育・保育要領を基に年齢に沿った教育、保育の充実を図り、一人ひとりの発達状況を把握・理解し個々に適した援助をすることが出来たと高く評価する。

②学校評価の個別評価

教育課程・指導

教育課程・全体的な計画に基づいた各種指導計画の下、一人一人の発達に即した指導がされている。

保健管理

その時期に流行する感染症等の情報提供や年二回の健康診断の結果も保護者に伝えている。以上児の尿検査の実施。感染症の予防を徹底し感染症の広がりを抑えた。

安全管理

毎月の避難訓練において、園児・職員ともに防災意識を高め指導が行われる。事故防止委員会を設置し会議等も行っている。

組織運営

職員のバランスを配慮して計画を立てており、得意な所を活かせるようにしている。

研修(資質向上の取組)

園内・外部研修に参加し、一人ひとりの職員に応じた研修がなされている。

教育目標・自己評価

チェックリストによる総合的な自己評価とクラス毎の教育・保育の評価が正しくなされている。

情報提供

玄関での掲示板やお便り帳などで伝えたりしている。

子育て支援

送迎時の情報交換やお便り帳の活用。必要に応じて個人面談等行っている。

預かり保育

延長保育や一時預かりなどの保育時間外の体制も整備されている。

教育環境整備

園内全体の安全に遊べる空間の確保と・教育・保育に即した環境の見直しを図っている。

③その他の必要な評価

その他1

安全に楽しみながら食育活動を行えるよう配慮している。

④課題と検討

教育・保育の中で質の向上を図るためカリキュラムマネジメントと行い、職員間のホウレンソウを密にするよう心がける。

子ども達には、アクティブラーニングを取り入れ主体性を育み、プログラミング的思考を身に付ける。